

2019年12月期 第2四半期決算説明会



大倉工業株式会社

2019年8月27日

代表取締役社長
神田 進

00-1 当社の概要



社名	大倉工業株式会社 Okura Industrial Co.,Ltd.
本社所在地	香川県丸亀市中津町1515番地
代表者	代表取締役社長 神田 進
設立	1947年7月11日
資本金	86億1千9百万円
発行済株式数	12,414,870株
従業員数	2,058名（連結子会社13社含む）

【2019年6月末現在】

CONTENTS

01. 第2四半期決算の概要

02. 通期の業績予想



要素技術を通じて、新たな価値を創造し、
お客様から選ばれるソリューションパートナー
～ お客様の価値向上と社会課題の解決に貢献し、
事業を通じて、社会・環境価値を創出する～

夢がある。技術がある。未来ができる。

第2四半期決算の概要

1

夢がある。技術がある。未来ができる。

連結業績

01-1 連結業績概要



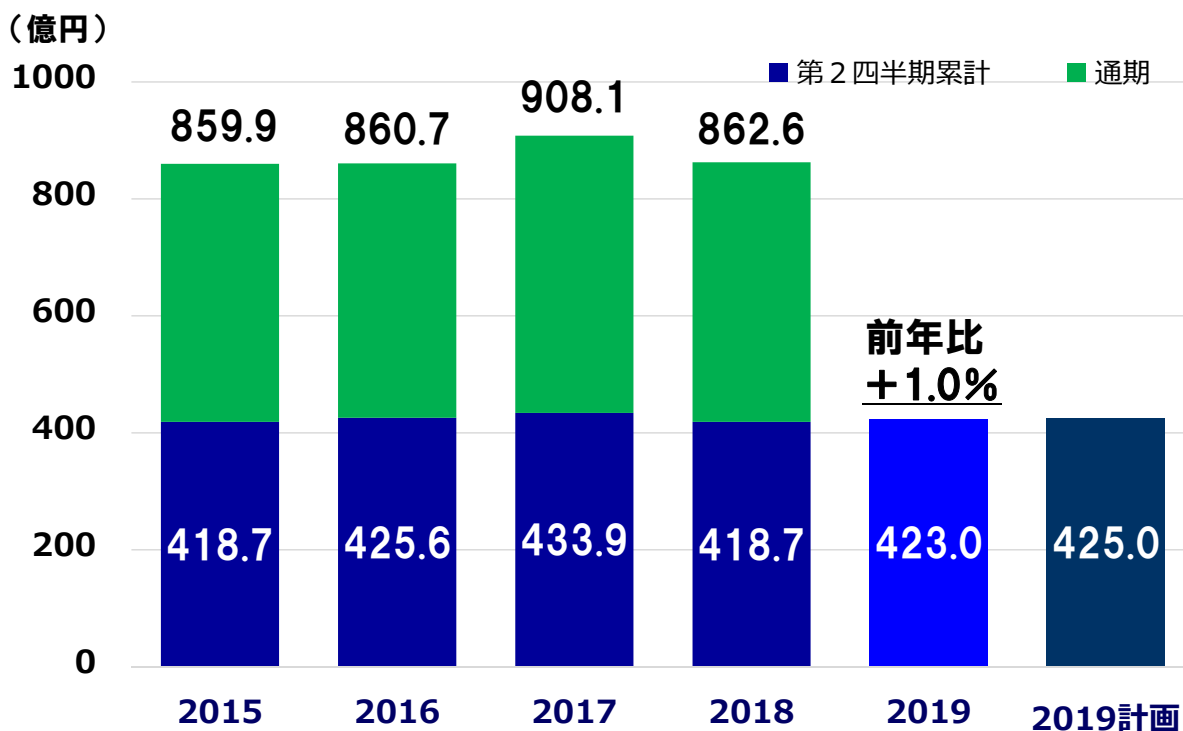
第2四半期連結業績

(億円)

	2018年 上期実績	2019年 上期計画	2019年 上期実績	前年比	計画比
売上高	418.7	425.0	423.0	+1.0%	△0.5%
営業利益	22.6	15.0	21.5	△4.7%	+43.9%
経常利益	23.1	15.5	22.1	△4.6%	+42.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	18.0	10.5	19.3	+7.6%	+84.7%



01-1 連結売上高

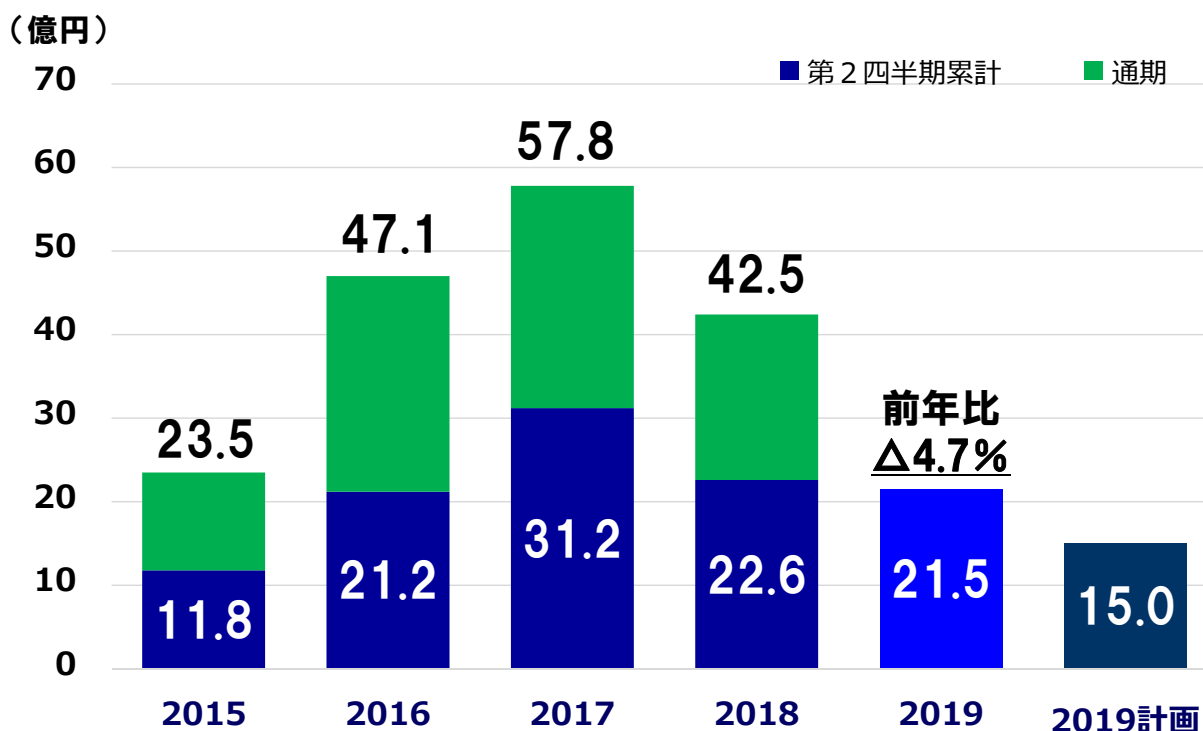


➤ 前期、大きく減少していたスマートフォン向け光学フィルムの受注が一部回復したことなどにより売上高は前年並み。

夢がある。技術がある。未来ができる。

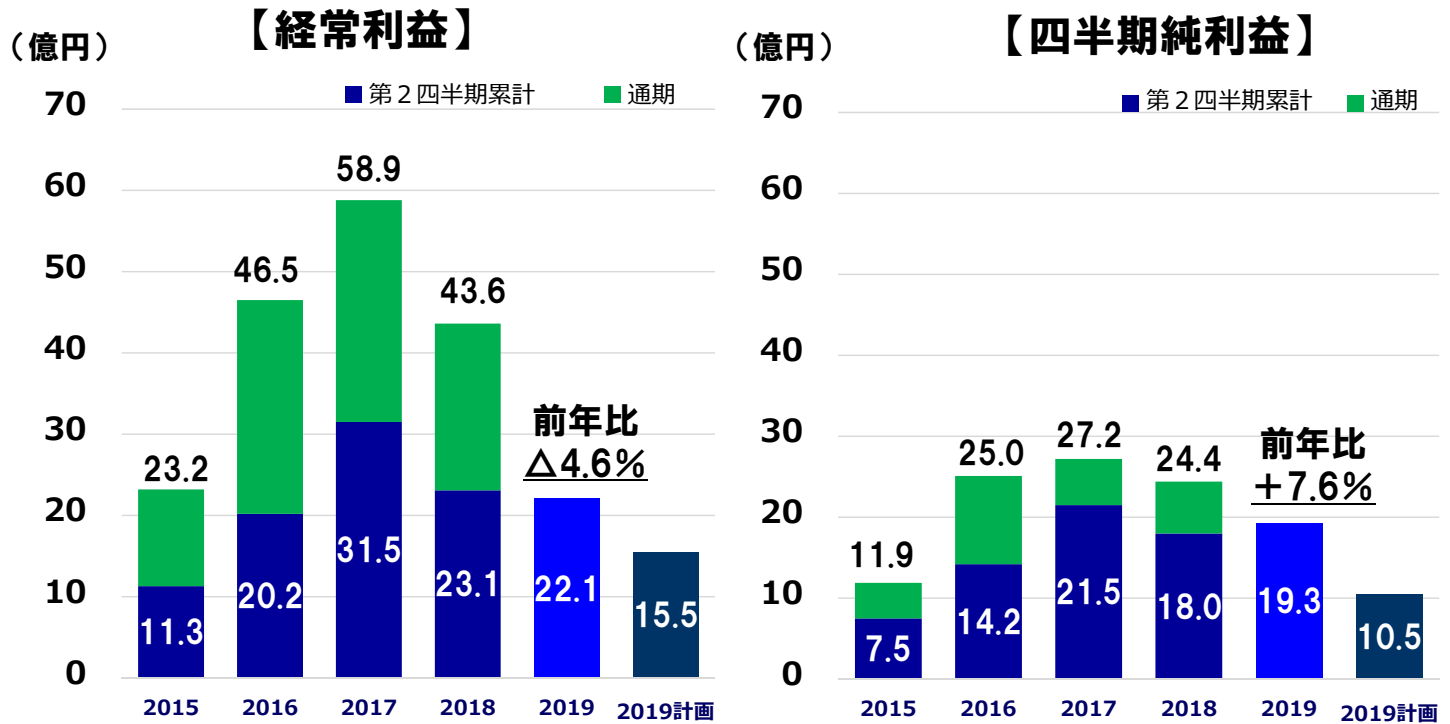


01-1 連結営業利益



➤ 大型液晶パネル向け製品の受注が大きく減少したことなどにより営業利益は前年を下回った。

夢がある。技術がある。未来ができる。



➤ 四半期純利益はオークラホテル高松の固定資産売却益と法人税等の減少により前年を上回った。

夢がある。技術がある。未来ができる。

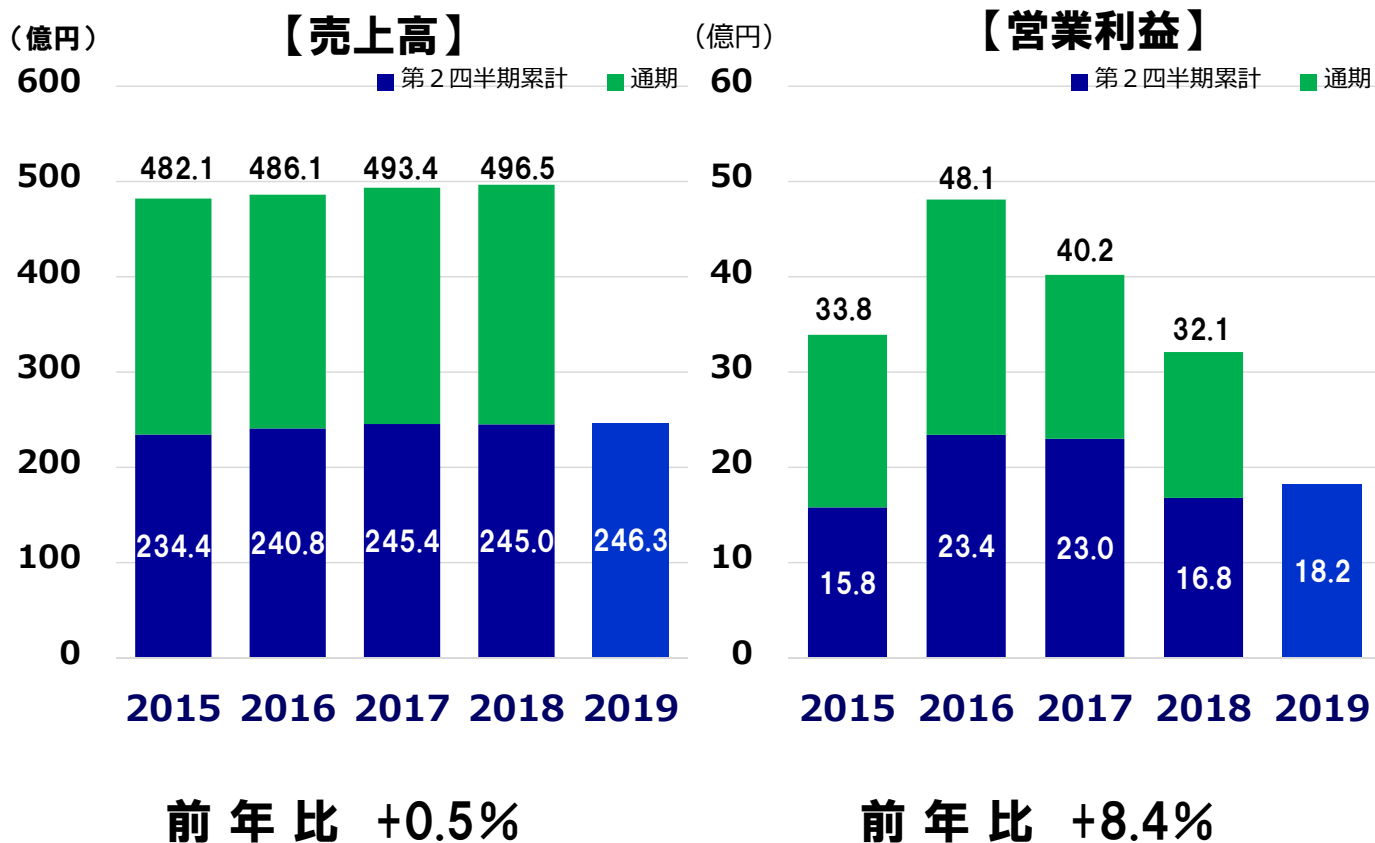
	(億円)		
	2018年上期	2019年上期	増減額
営業利益	22.6	21.5	$\Delta 1.0$
営業外収益	1.4	1.4	$\Delta 0.0$
営業外費用	0.9	0.8	$\Delta 0.0$
経常利益	23.1	22.1	$\Delta 1.0$
特別利益	1.6	1.9	+0.2
特別損失	0.5	0.5	$\Delta 0.0$
税金等調整前 四半期純利益	24.2	23.5	$\Delta 0.7$
法人税等	6.2	4.1	$\Delta 2.0$
親会社株主に帰属する 四半期純利益	18.0	19.3	+1.3

夢がある。技術がある。未来ができる。

セグメント別の概要

合成樹脂事業





夢がある。技術がある。未来ができる。

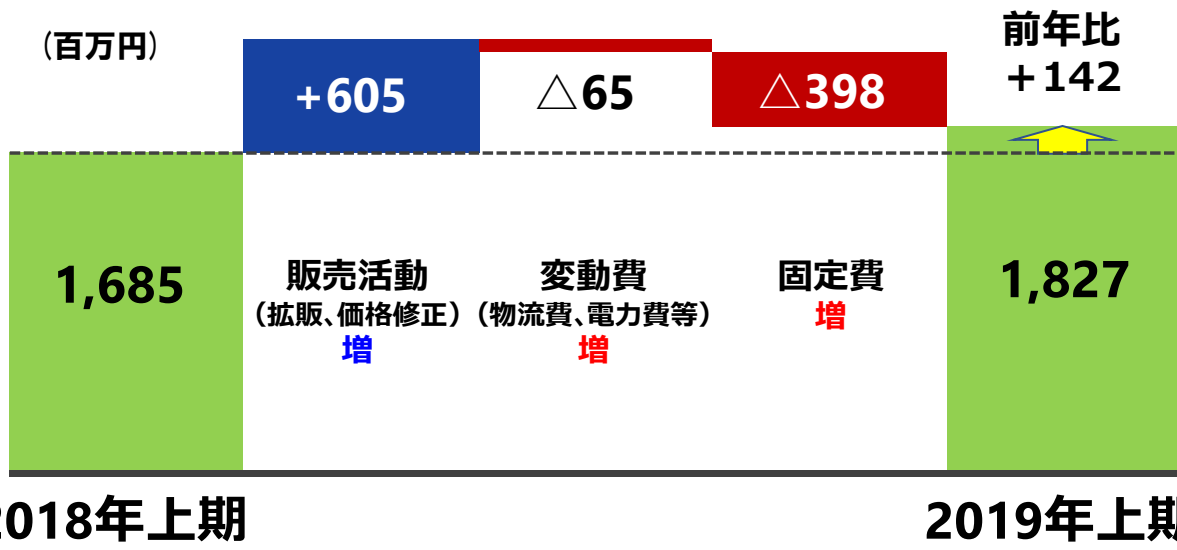
【BU別売上高】 (百万円)

	2019年上期	前年比
パッケージングBU	8,977	+1.8%
産業機能材BU	2,950	△0.4%
一般包材BU	9,851	+2.0%
アグリマテリアルBU	2,579	△6.1%
その他	275	△15.0%
合計	24,633	+0.5%

- シュリンクフィルムや詰め替え用パウチ袋の増販により増収。
- アグリマテリアルBUは製品価格修正の影響により減収。

夢がある。技術がある。未来ができる。

【営業利益の増減内訳】

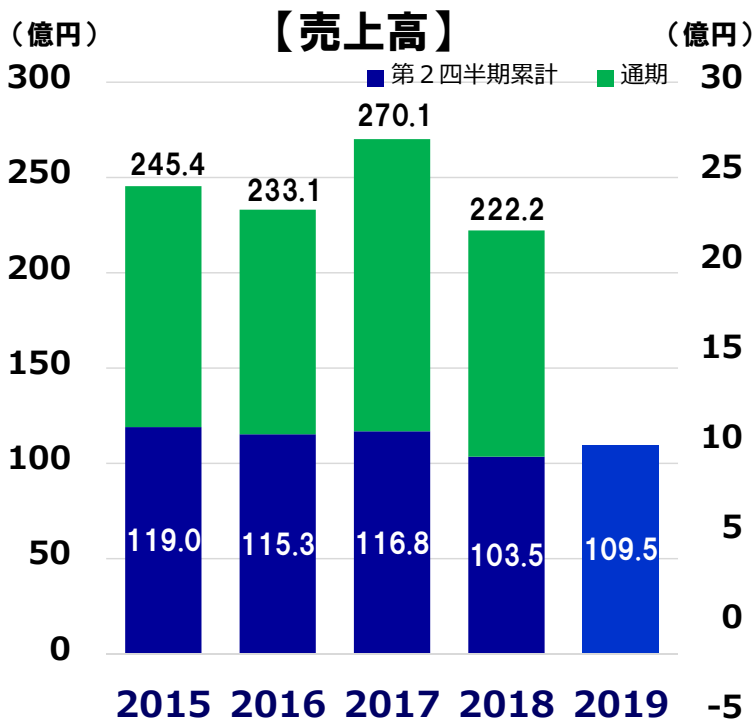


- 減価償却費等の固定費が増加したものの販売活動でカバーし、前年を上回った。

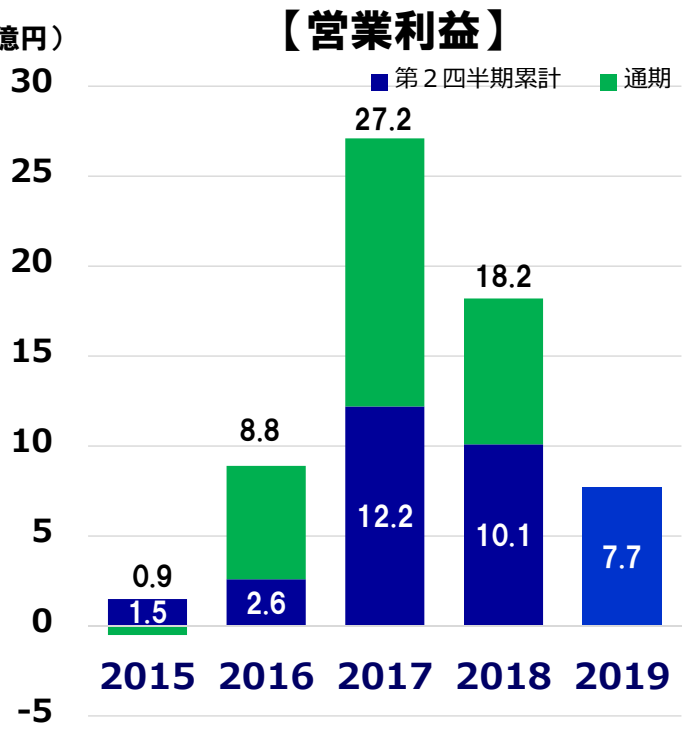
夢がある。技術がある。未来ができる。

新規材料事業





前年比 +5.8%



前年比 △23.6%

夢がある。技術がある。未来ができる。

【BU別売上高】

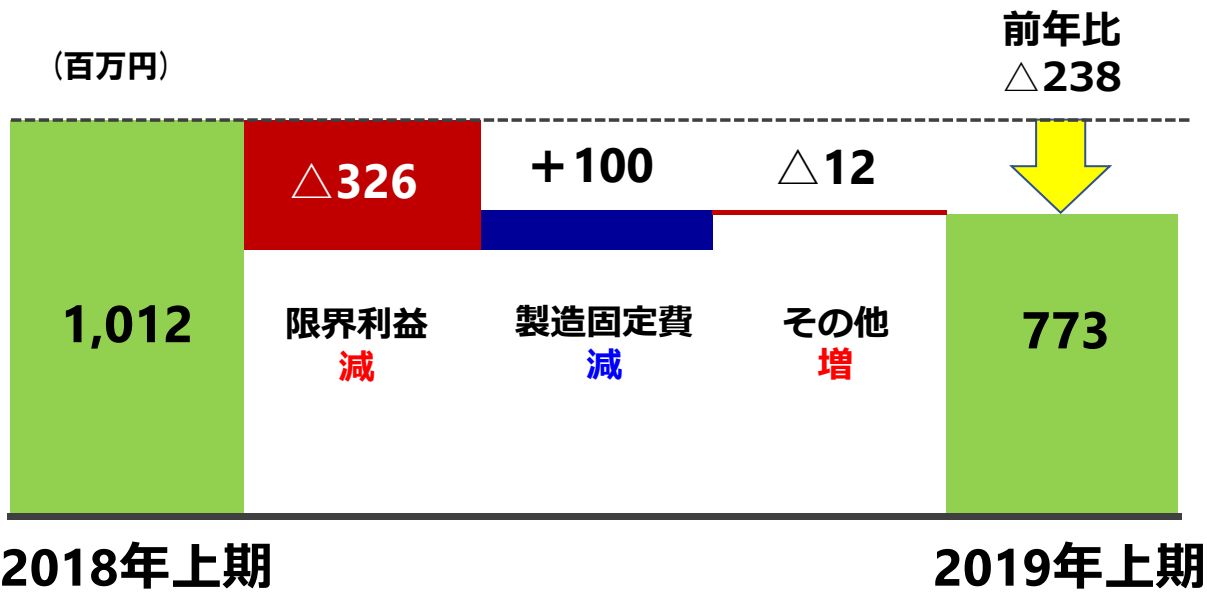
(百万円)

	2019年上期	前年比
第1BU(機能材料)	1,363	+14.5%
第2BU(光学材料-加工)	4,136	+71.8%
第3BU(電子材料-製膜延伸)	2,667	△24.7%
商 品 他	2,789	△13.3%
合 計	10,954	+5.8%

- 自動車関連製品が好調に推移。
- スマートフォン向けの受注が一部回復。

夢がある。技術がある。未来ができる。

【営業利益の増減内訳】

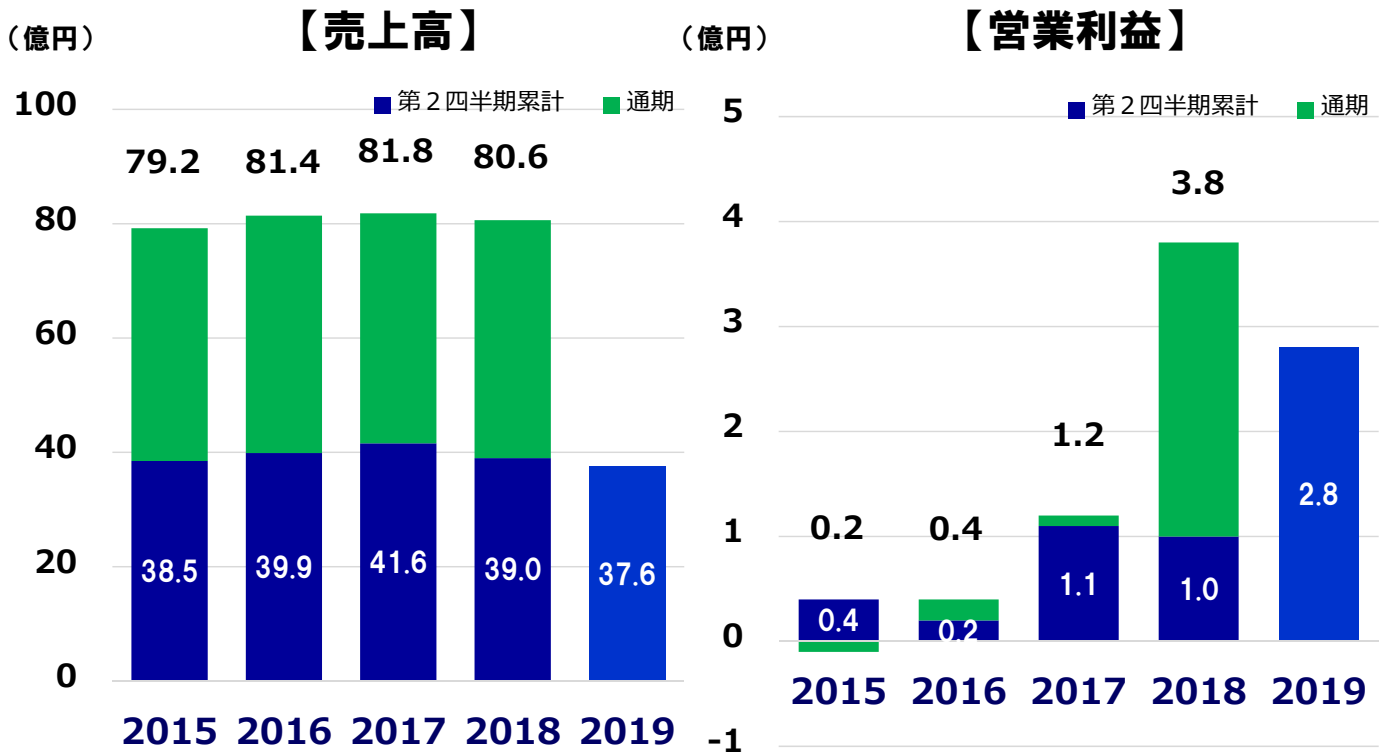


➤ 大型液晶パネル向けの受注が減少し、大幅に減益。

夢がある。技術がある。未来ができる。

建材事業





前年比 $\Delta 3.5\%$

前年比 $+178.6\%$

夢がある。技術がある。未来ができる。

【製品別売上高】

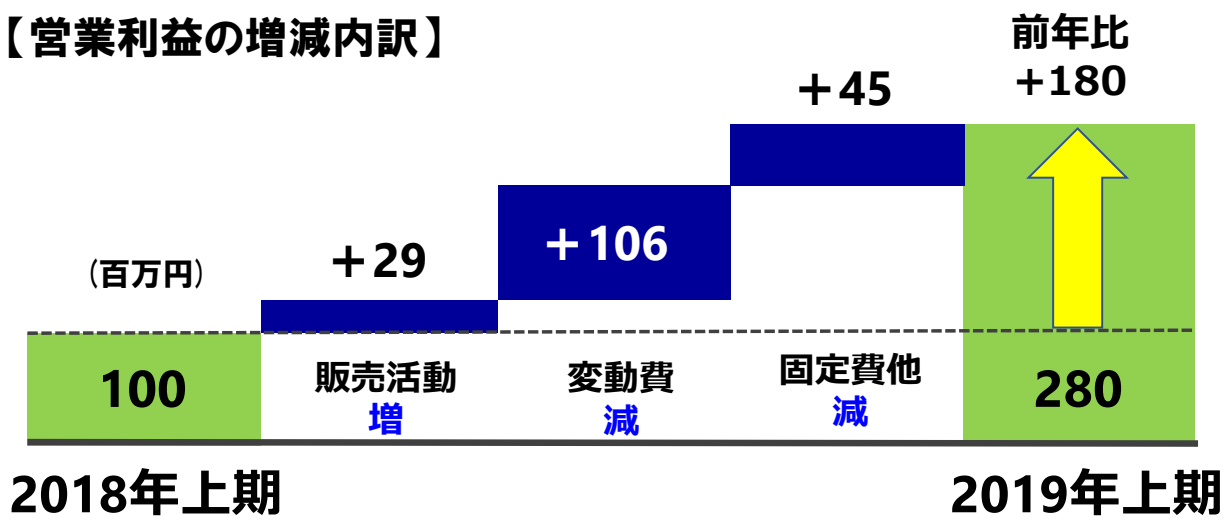
(百万円)

	2019年上期	前年比
パーティクルボード素板	1,370	+1.0%
パーティクルボードフロア	1,306	+15.8%
住環境 (建 装 材)	779	$\Delta 27.0\%$
(内、パーティクルボード基材加工品)	(447)	(+5.5%)
その他建築資材 (商 品)	308	$\Delta 11.8\%$
合 計	3,764	$\Delta 3.5\%$

- パーティクルボードはフロア用が好調。
- 住環境は南洋材合板化粧板等の規格品販売を終了したため減収。

夢がある。技術がある。未来ができる。

【営業利益の増減内訳】

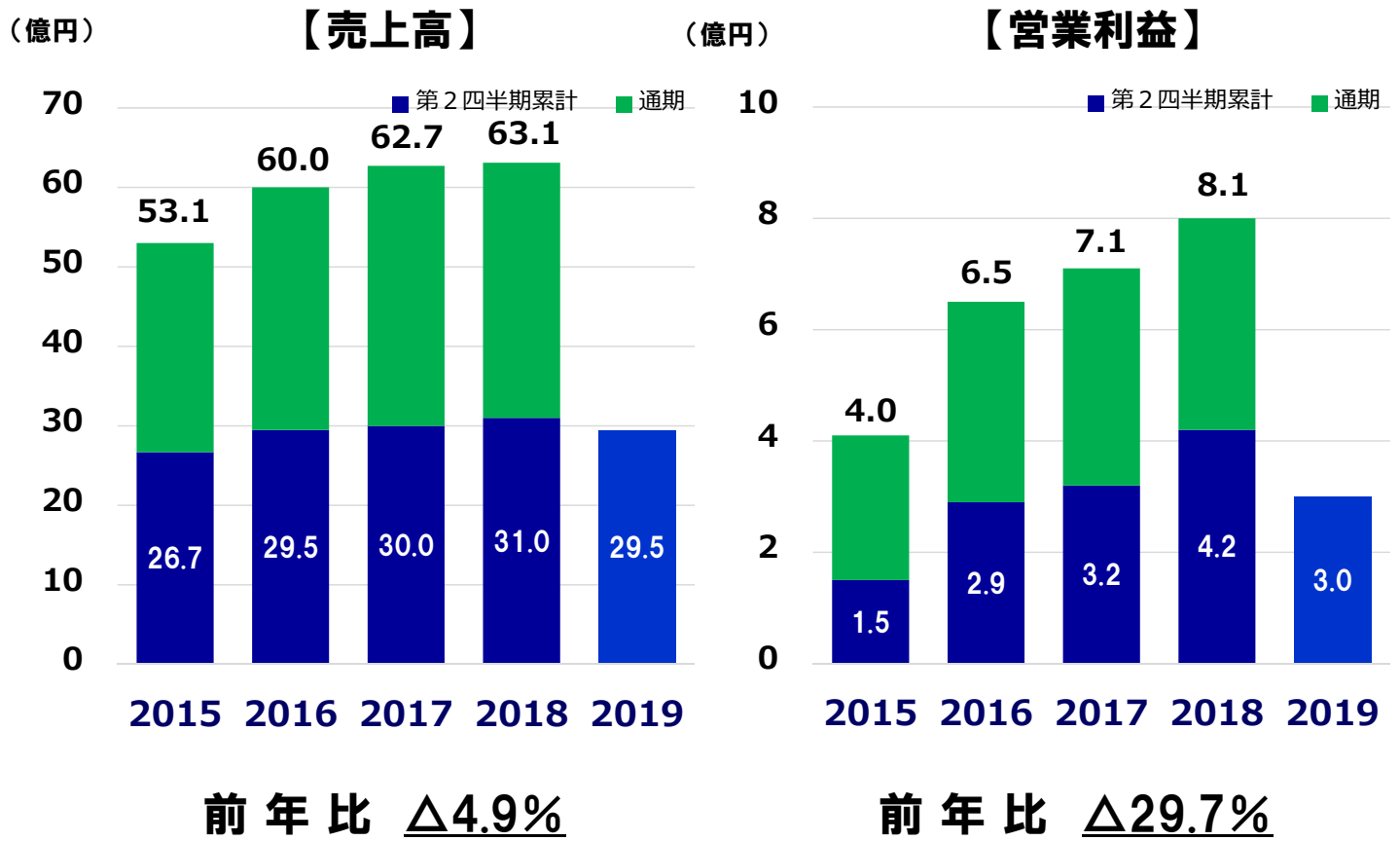


- パーティクルボードの生産が順調だったことと歩留りの改善により前年を大幅に上回った。

夢がある。技術がある。未来ができる。

その他関連事業





夢がある。技術がある。未来ができる。

【事業別売上高】 (百万円)

2019年上期	売上高	前年比
ホテル事業	700	$\Delta 25.7\%$
情報処理事業	550	$\Delta 5.2\%$
住宅事業	467	+13.5%
プレカット事業	1,419	+9.0%
賃貸事業	390	+1.1%
消去・組替	$\Delta 573$	-
合計	2,955	$\Delta 4.9\%$

➤ オークラホテル高松の売却によりホテル事業の売上高が減少。

夢がある。技術がある。未来ができる。

貸借対照表、キャッシュ・フロー他

01-3 連結貸借対照表



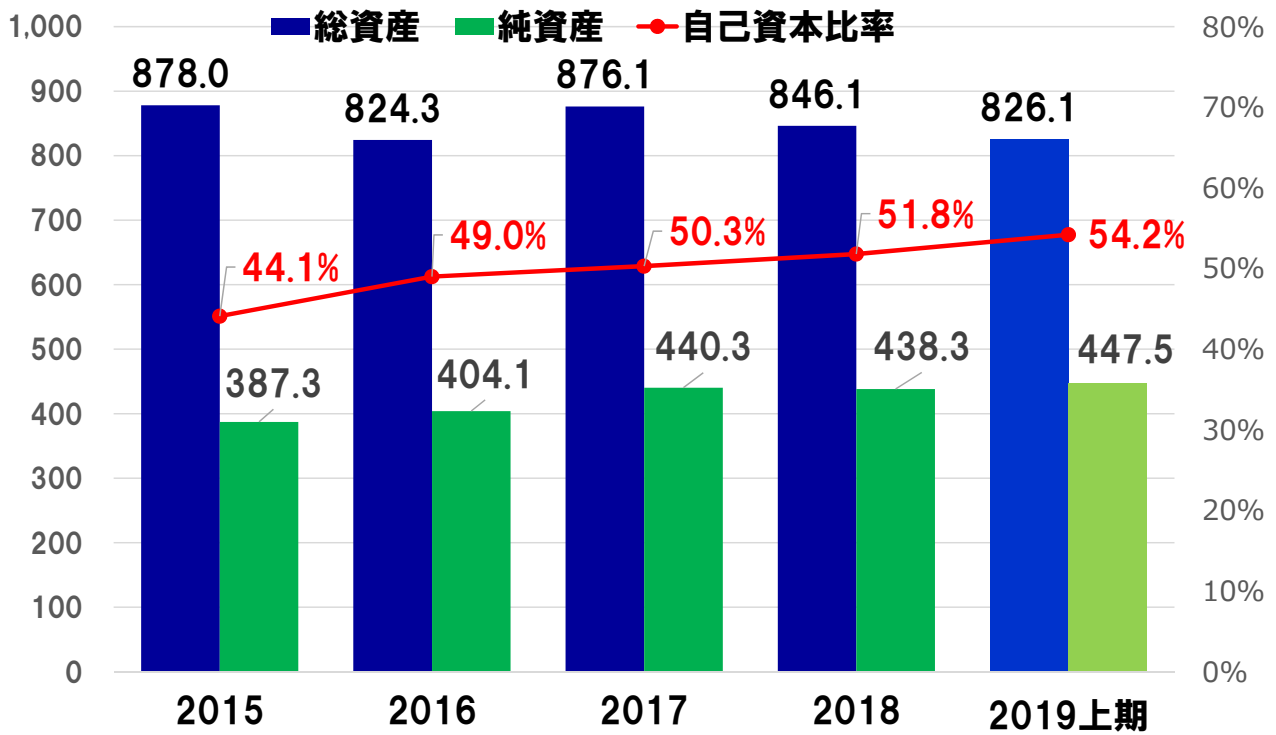
(億円)

	2018期末	2019年 第2四半期末	増減額
(資産の部)			
流動資産	435.6	425.3	△10.3
固定資産	410.4	400.8	△9.6
資産合計	846.1	826.1	△19.9
(負債の部)			
流動負債	340.5	321.0	△19.4
固定負債	67.2	57.5	△9.6
負債合計	407.7	378.6	△29.1
(純資産の部)			
純資産合計	438.3	447.5	+9.1

01-3 総資産・純資産・自己資本比率



(億円)



夢がある。技術がある。未来ができる。

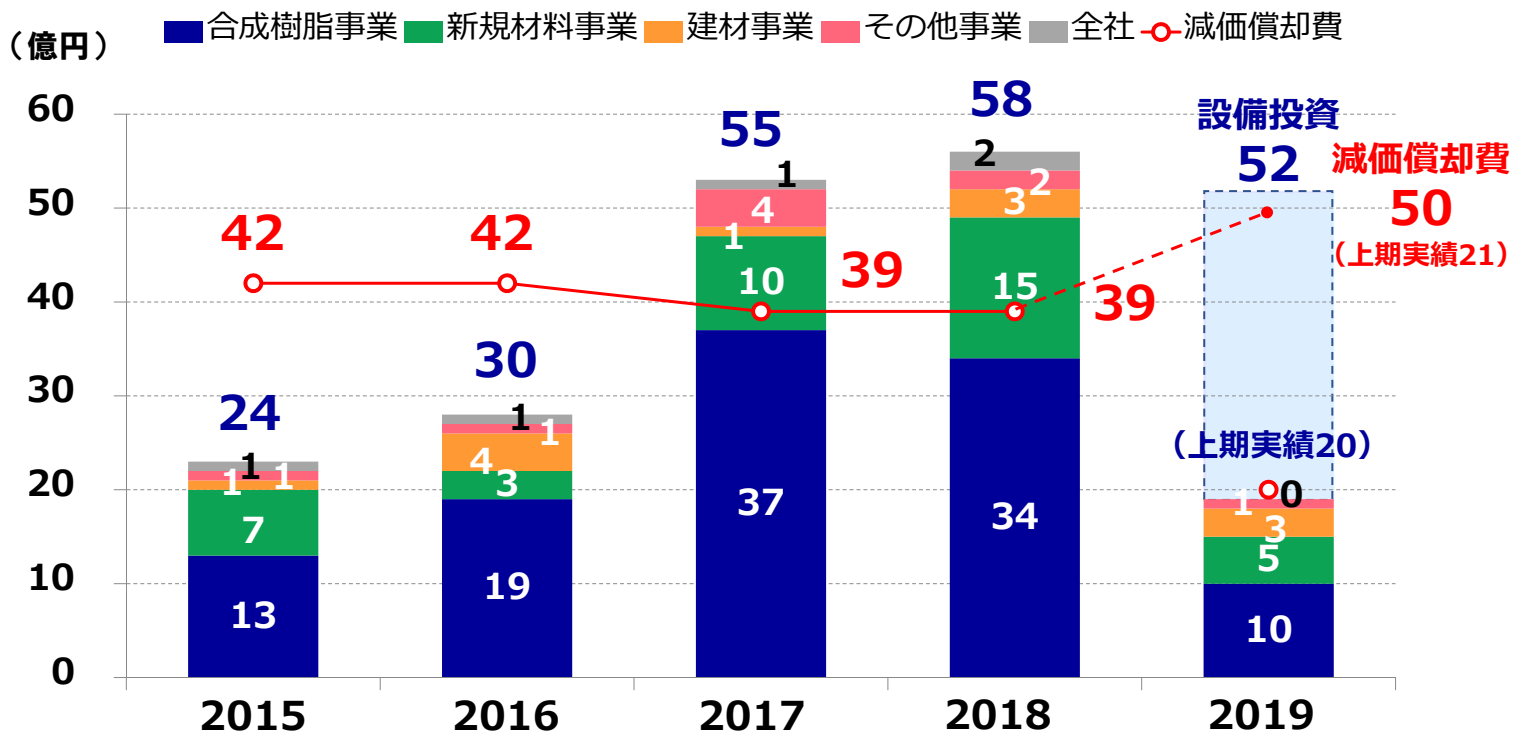
01-3 連結キャッシュ・フロー計算書



(億円)

	2015年	2016年	2017年	2018年	2018年 上期	2019年 上期
現金及び現金同等物 期首残高	67.3	73.8	74.7	86.4	86.4	74.3
営業活動による キャッシュ・フロー	57.5	75.5	90.9	59.5	18.2	30.2
投資活動による キャッシュ・フロー	△21.3	△7.1	△40.2	△52.6	△28.0	△31.1
財務活動による キャッシュ・フロー	△30.4	△66.9	△39.0	△18.8	△6.4	△4.1
現金及び現金同等物 期末残高	73.8	74.7	86.4	74.3	70.0	69.1

夢がある。技術がある。未来ができる。



➤ 設備投資は、計画に近いところで進捗

夢がある。技術がある。未来ができる。

通期の業績予想

2

夢がある。技術がある。未来ができる。

世界経済は減速へ

<世界経済のリスク要因 ⇒ 日本企業に影響顕在化>

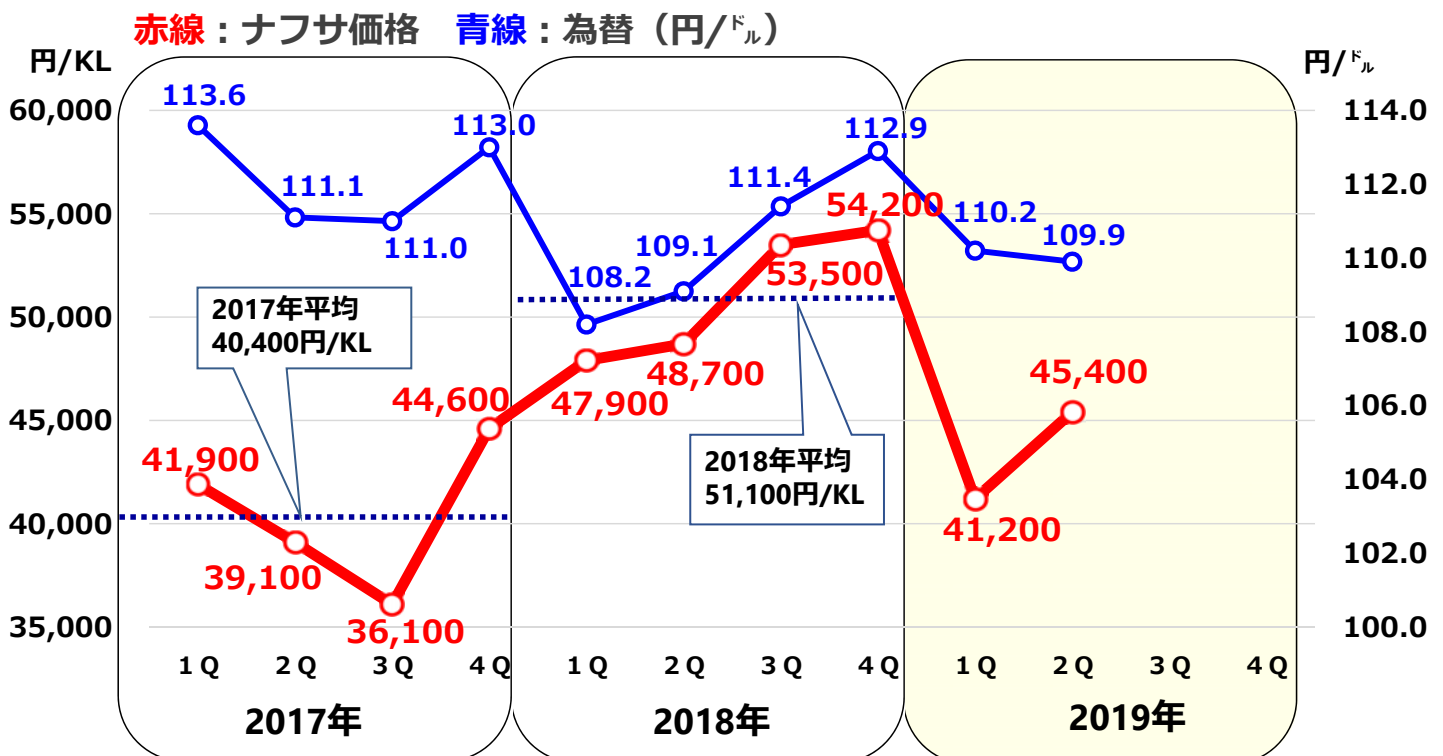
- ・米中の貿易摩擦の激化
- ・中国経済の減速
- ・日韓関係悪化
- ・ペルシャ湾情勢緊迫

当社に影響する外部環境

- ・国内企業の業績悪化と下振れリスク
- ・プラスチックごみ、食品ロス問題対応への高まり
- ・人手不足、物流費等のコストアップ
- ・消費増税に伴う駆け込み需要と反動減

夢がある。技術がある。未来ができる。

02-1 国産ナフサ価格及び為替の足下での動向



2018年 3Q : 53,500円/KL (確報値) 4Q : 54,200円/KL (確報値)
2019年 1Q : 41,200円/KL (確報値) 2Q : 45,400円/KL (速報値)

夢がある。技術がある。未来ができる。

(億円)

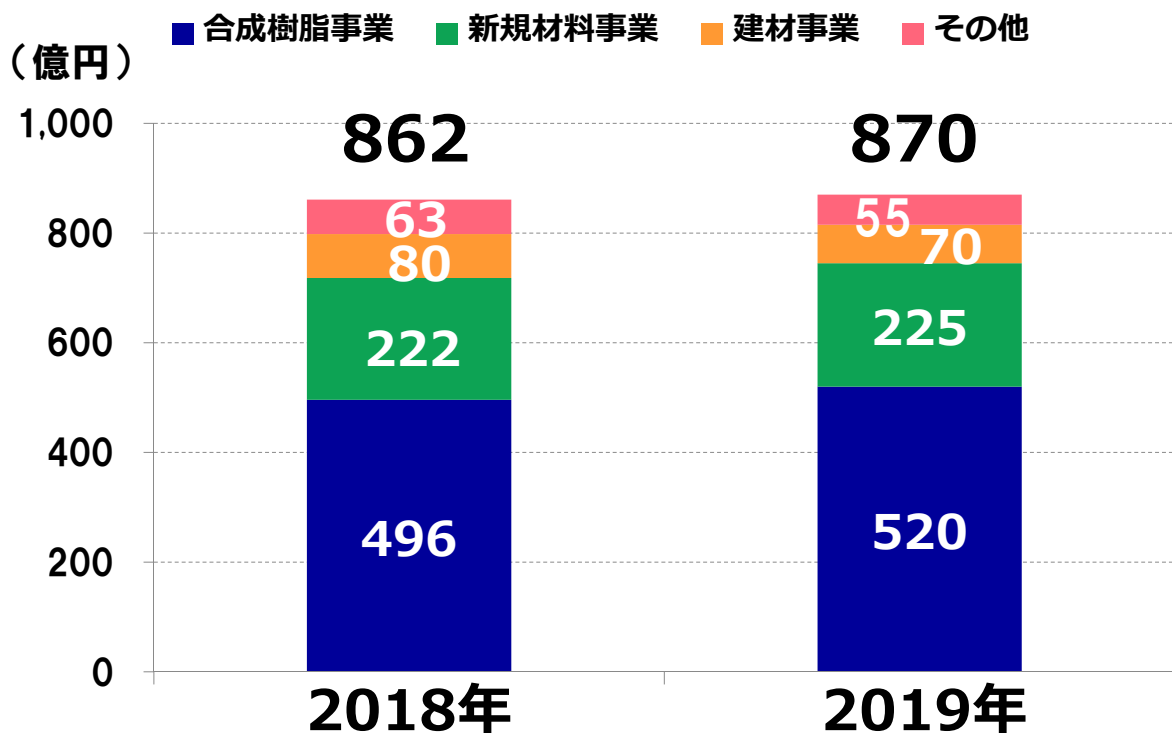
	2018年 実績	2019年 予想	前年 増減	前年 比
売上高	862.6	870.0	+7.3	+0.9%
営業利益	42.5	35.0	△7.5	△17.7%
経常利益	43.6	36.0	△7.6	△17.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	24.4	25.0	+0.5	+2.4%
設備投資	58.3	52.0	△6.3	△10.8%
減価償却費	39.0	50.0	+10.9	+28.1%
償却前経常利益	82.6	86.0	+3.3	+4.0%

米中貿易摩擦やイランへの制裁問題をはじめとした地政学的リスクが国内経済に与える影響など不確定要素が多く、現時点での予想数値の修正が困難であるため、2月に公表した数値を据え置いております。

夢がある。技術がある。未来ができる。

35

02-1 業績予想 セグメント別売上高

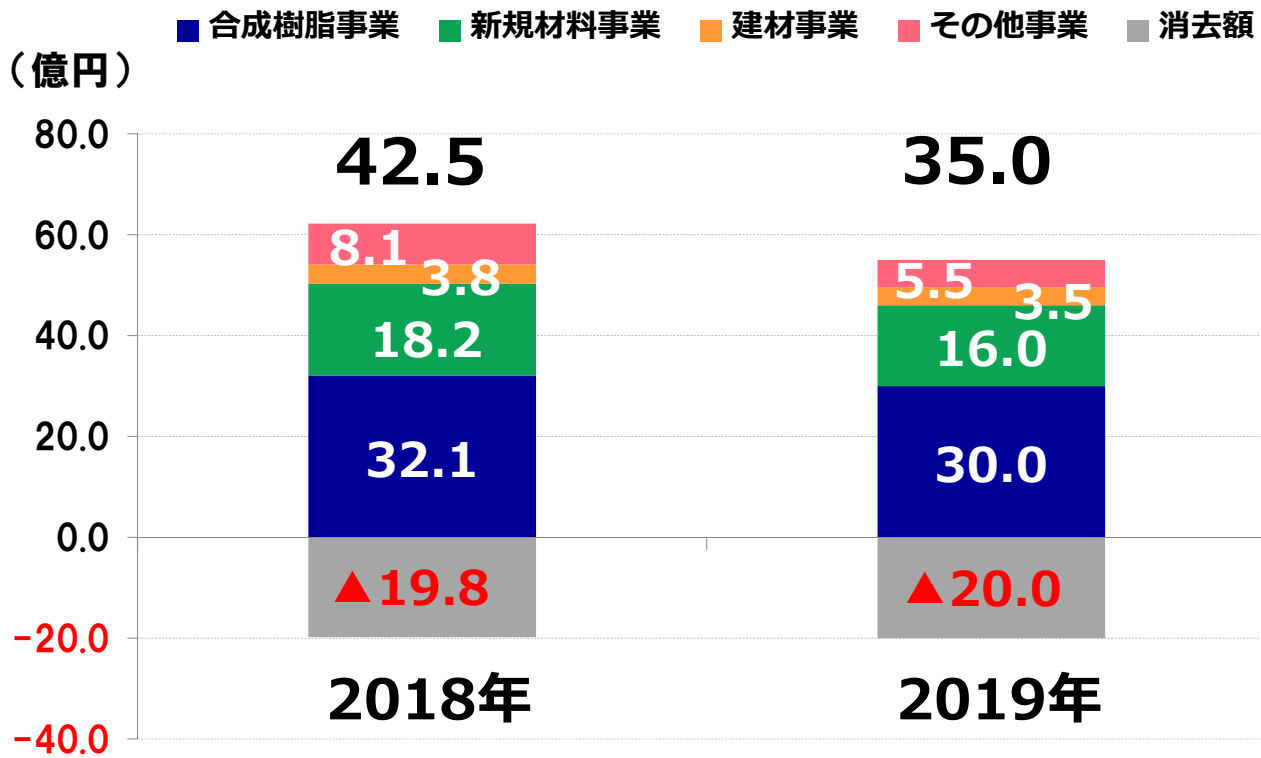


夢がある。技術がある。未来ができる。

36



02-1 業績予想 セグメント別営業利益



夢がある。技術がある。未来ができる。



02-1 2019年設備投資計画



(億円)

	2018年 実績	2019年 計画	主な投資案件
合成樹脂事業	34.0	27.5	ヘルスケア関連製品製造設備
新規材料事業	15.7	14.5	自動車関連製品製造設備
建材事業	3.5	4.0	安定生産のための パーティクルボード関連設備の整備
その他・全社	4.9	6.0	ガバナンス強化のためのシステム投資
合計	58.3	52.0	

夢がある。技術がある。未来ができる。

セグメント別の概要

合成樹脂事業



(億円)

	2018年 実績	2019年 予想	前年比	2019年 上期実績	進捗率
売上高	496.5	520.0	+4.7%	246.3	47.4%
営業利益	32.1	30.0	△6.8%	18.2	60.9%
設備投資	34.0	27.5	△19.3%		
減価償却費	22.0	30.0	+35.9%		

重点課題

- 設備投資案件の早期収穫
- 環境対応型製品の開発・強化

夢がある。技術がある。未来ができる。

設備投資案件

高速多層シュリンクフィルム製造装置

仲南工場に新設。総投資額23億円。
生産能力は全体で3割アップ。
2019年売上見込み 9億円



スパウト付大型スタンドパウチ袋製造装置

総投資額2.6億円。
2019年売上見込み 2億円



レーザーカット加工機

総投資額50百万円。
2019年売上見込み 0.4億円

特許申請中



夢がある。技術がある。未来ができる。

環境対応型製品の状況

農業用生分解マルチフィルム「エコローム®・FC」

2019年売上見込み 1.2億円 前年比 33%増加



エコラップ®G、エコラップ®BSS-V2

トレーガスパック包装で食品の消費期限を延長
2019年国内売上見込み 6.5億円 前年比 7%増加



自治体向けバイオマス ごみ袋

2019年 約30の自治体に採用
2019年売上見込み 2.5億円 前年比 17%増加



夢がある。技術がある。未来ができる。

新規材料事業



(億円)

	2018年 実績	2019年 予想	前年比	2019年 上期実績	進捗率
売上高	222.2	225.0	+1.3%	109.5	48.7%
営業利益	18.2	16.0	△12.2%	7.7	48.4%
設備投資	15.7	14.5	△8.1%		
減価償却費	9.9	12.5	+26.2%		

重点課題

- 光学フィルム製品新規案件の開発、早期立ち上げ
- 自動車関連製品の拡販

夢がある。技術がある。未来ができる。

45

02-2 新規材料事業 重点課題

多層インフレ機

自動車用TPUフィルム製造装置。

総投資額3.4億円。

2019年10月より稼働予定。

PPF(ペイント・プロテクション・フィルム)

2018年売上実績 1.8億円

2019年売上見込み 5.2億円



光学フィルム溶融押出機(開発用)

光学フィルム製品の開発用として導入。

総投資額8億円。2019年12月より稼働予定。

夢がある。技術がある。未来ができる。

46

建材事業



02-2 建材事業



(億円)

	2018年 実績	2019年 予想	前年比	2019年 上期実績	進捗率
売上高	80.6	70.0	△13.2%	37.6	53.8%
営業利益	3.8	3.5	△8.5%	2.8	80.2%
設備投資	3.5	4.0	+14.1%		
減価償却費	3.0	3.5	+14.2%		

重点課題

- 構造用ボードの本格事業化
- 建装材部門の構造改革

大工不足と高性能住宅へのニーズの高まり

構造用パーティクルボード・省施工パネル



大倉工業建材事業部

- ・ 建築基礎素材・建材事業
- ・ 構造用パーティクルボード

オークラプレカットシステム

- ・ 木造軸組住宅構造プレカット事業
- ・ 軸組・羽柄・省施工パネル

オークラハウス

- ・ 分譲住宅
- ・ 木造住宅建築請負事業
- ・ 地域ビルダー

グループ外ルート

川上部門（素材）から川下部門（住宅）の
グループ内での連携により付加価値を最大に

夢がある。技術がある。未来ができる。

その他関連事業



(億円)

	2018年 実績	2019年 予想	前年比	2019年 上期実績	進捗率
売上高	63.1	55.0	△12.9%	29.5	53.7%
営業利益	8.1	5.5	△32.1%	3.0	54.6%
設備投資	2.5	4.0	+59.5%		
減価償却費	2.6	2.5	△2.4%		

重点課題

ホテル	インターネット・SNSを活用した情報発信
情報処理	自社新サービス新製品の早期投入
ハウス	増税後の反動減による市場縮小を見込んだリスクヘッジ策の実施
プレカット	主要加工機を更新、最適事業規模へ移行し効率化を図る

夢がある。技術がある。未来ができる。

51

02-2 R&Dセンター



注力領域

「環境・エネルギー」「ライフサイエンス」「情報通信」と、3つの領域を横断する「モビリティ領域」

夢がある。技術がある。未来ができる。

52

参考資料

03-1 《参考資料》事業紹介



合成樹脂事業

パッケージングBU

シュリンクフィルム

中間物流用の重量物包装や集積包装、食品を直接包装するものなど、オリジナルのデザインや形状を生かしたまま、商品をより美しく安全に包み込む。用途に応じた独自の機能を付与すると共に、印刷などの二次加工や包装システムなどを提案。

【用途例】

乳酸菌飲料集積用、カップ麺、酒パック等の包装フィルム、食品トレイ包装用バリアフィルム



軟包材

ナイロン・ポリエステル・ポリエチレンなどのさまざまなフィルムを貼り合わせることにより、それぞれの特性を活かした機能的な複合フィルムのこと。冷凍食品の包装やIC基盤の保護用フィルム、詰め替え用のスパウト付きミネート袋など、身近なところから最先端の電子材料にまで幅広く提供。

【用途例】

食品、洗剤、柔軟剤、シャンプー、ペットフード、お菓子等



リキッドパック

液体包装容器の総称であり、段ボール箱内で使用されるバッグインボックスとドラム缶内で使用されるバッグインドラムに大別される。醤油などの食品や化学薬品などの液体輸送の合理化に寄与。

【用途例】

ミネラルウォーター、油脂加工製品、調味液（醤油、ソース等）、液体肥料、液体洗剤、接着剤



合成樹脂事業

産業機能材BU

電子・エネルギー・住宅・メディカルなど様々な分野の主材や基材を提供。液晶パネルに使用される位相差フィルムの保護用フィルムなど、独自の樹脂ブレンドノウハウ・高い製膜技術・徹底した品質管理で最適なソリューションを提供。

【用途例】
光学、電子、電気製品、自動車、エントバス壁面、ドア・カーゼット・床などの建築材など



一般包材BU

規格袋・ごみ袋・包装/梱包荷材など、各種既製品はもとより、食品・衛生材料・家庭紙・日用雑貨・産業資材・医薬・洗剤・化粧品・印刷出版物など幅広い分野で製品の包装に使われているポリエチレンフィルムを提供。

【用途例】
規格袋、日用品、食品用パッケージフィルム、衛生材料用フィルム



アグリマテリアルBU

農業用の機能性フィルムであり、全国の農家から親しまれている製品。農作業の省力化と作物の収穫増のために、保温・地温上昇抑制・害虫忌避・抗菌・生分解といったさまざまな機能を持つ製品をラインアップ。

【用途例】
農業用フィルム、肥料の保存



夢がある。技術がある。未来ができる。

新規材料事業

第1BU(機能材料)

TPUチーム(ウレタンフィルム)

機械的・化学的・電氣的等著しい機能を持つウレタンやフッ素系等の単層、多層フィルムをメディカル分野や自動車部品メーカー等に提供。

【用途例】
創傷用被覆保護ドレッシング
プリント接着用シート
印刷転写用シート
ヘッドレスト
ペイントプロテクションフィルム



BLTチーム(シームレスベルト・樹脂被覆ローラ)

プリンター等の画像情報機器に必要な電子機能を持つベルトやチューブをプリンター・複写機メーカーに提供。

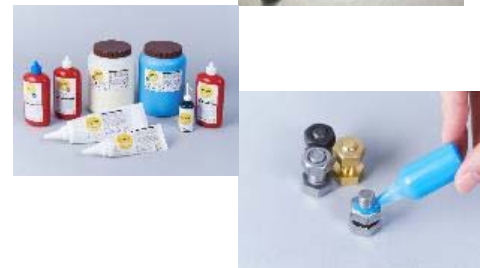
【製品種類】
LBP用中間転写ベルト
クリーニングローラ
転写ローラ



ADHチーム(アクリル接着剤)

3タイプの硬化機構の無溶剤型アクリル接着剤を車輛・電気・鋼板・鋳型模型からゴルフクラブまで幅広い市場に提供。

【用途例】
モーターマグネット(電気自動車部品)
塗装鋼板
ゴルフクラブ
鋳型模型



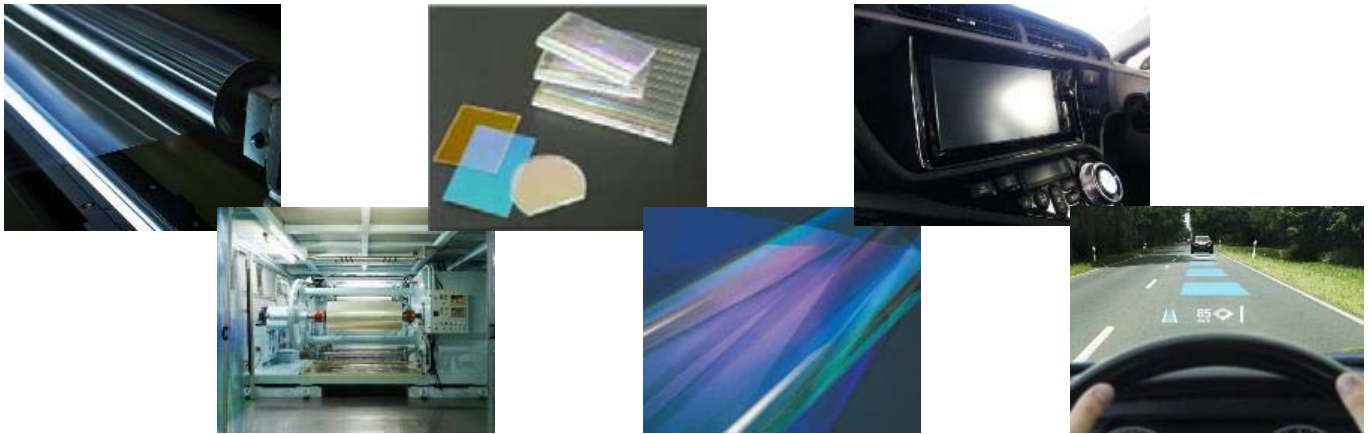
夢がある。技術がある。未来ができる。

新規材料事業

第2BU(光学材料-加工)、第3BU(電子材料-製膜延伸)

MNTチーム、KEチーム、PLMチーム、CTチーム、MCSTRチーム

大型から中小型サイズの液晶ディスプレイを始め、タッチパネルや液晶プロジェクター等、電子表示体のキーマテリアルとなる各種光学機能性フィルムをFPDメーカー等に提供。



夢がある。技術がある。未来ができる。

建材事業

パーティクルボード(素板)

木質廃材を細かくしたチップに接着剤などを混ぜた原料を高温でプレスし固めたパーティクルボード。
木質廃材を焼却せず製品としてリサイクルしており、二酸化炭素の排出を抑制し、地球温暖化の防止に寄与。



- 【用途例】
キッチン、家具
フロア
構造用耐力面材



住環境

当社のパーティクルボードなどにシートを貼った製品で、棚板、フロア等として住宅メーカー等に提供。
建築途中の壁や床を保護する養生シート。

- 【用途例】
フロア、棚板等のパーティクルボード二次加工品
床下地材養生シート



夢がある。技術がある。未来ができる。

その他関連事業

ホテル事業:オークラホテル株式会社

香川県丸亀市に本社があり、オークラホテル丸亀と岡山ビジネスホテルアネックスの2つのホテルを営業。オークラホテル丸亀は瀬戸内海を一望する最高のロケーションでビジネスや観光の拠点に便利な立地。岡山ビジネスホテルアネックスはビジネス向け宿泊の集客に焦点を置いた、機能的かつ利便性を重視した宿泊機能集中型ホテル。



情報処理事業:オークラ情報システム株式会社

香川県丸亀市に本社があり、ソフトウェア開発やコンピュータシステムの運用、保守パッケージソフトの製造・販売、コンピュータ機器販売を手掛けている。ニーズを拾い上げ、形にするまでトータルでサポート。



住宅事業:株式会社オークラハウス

香川県丸亀市に本社があり、県内の新築、リフォームを手掛ける。エネルギー収支ゼロを目指したゼロ・エネルギー住宅や国土交通省が定めた耐震性能最高等級「耐震等級3」相当で建てるなど、快適に安心して長く住んでもらう住宅を提供。



プレカット事業:株式会社オークラプレカットシステム

香川県丸亀市に本社があり、木造建屋宅用構造材加工（プレカット加工）および木造建屋用資材（建築金物・基礎素材等）の仕入販売を行っている。よりよい家を作るために、数々の建築データを基に、安全に現場での作業を迅速に行えるプレカットされた木材を、日々つくり続けている。



夢がある。技術がある。未来ができる。

59

業績予想・事業計画に関する注意事項

本資料に掲載されている業績予想・事業計画は、当社が現時点で入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等の結果は、今後生ずる様々な要因によって、予想・計画とは異なる場合がございます。

夢がある。技術がある。未来ができる。

60

OKURA

**2019年12月期
第2四半期決算説明会**



大倉工業株式会社

2019年8月27日

END